

## 社員の皆様へのメッセージ

株式会社 イナテック

代表取締役社長 稲垣 良次

2022. 1  
No.341

### 謹賀新年

2022年明けましておめでとございます。  
ます。

昨年は、コロナ禍の中で部品調達ができなかったり、世界的な半導体不足で自動車部品業界も減産を余儀なくされ、減産時における管理体制の弱さを痛感させられました。

前向きに考えれば、イナテックの弱さが具体的に見えてきたことが良かったと思います。2022年は増減産が激しく動いても利益確保できる体制をいち早く構築しなければなりません。

## 2022年度イナテック会社方針

スローガン

『全社(グループ)一丸で生き残りをかけた大変革の加速』

『ワーク3K(かっこいい・感動・稼げる)』

イナテックへ

以上を2022年度のスローガンにいたしました。

2022年はどんな年かと言いますと、2030年にガソリンエンジンが約60%減ることに向け、2022年～2023年は、今までの売上構成を変える大変重要な年になります。2022年～2024年までは、お陰様でまだ体力は残っております。その間に体質(売上構成比率)を変えることです。

### これは「第4次世界産業革命」

このガソリン車の減産とEV化(電動化)は、イナテックだけの問題ではなく、日本中、いや世界中の大問題なのです。

特にこの愛知県はトヨタ様をはじめとする自動車王国です。デパートや飲食業や商店、パチンコなどすべて自動車産業の恩恵を受けているわけです。だからこそ、今まさに大変革をしないと会社もろとも消滅してしまいます。

過去に、1900年初頭に英国から産業革命が起こり、その時も今と同じ議論が勃発しましたが、人類は何とか変身し、環境の変化に対応できた歴史があります。

今の日本も、イナテックも、この第4次産業革命を必ずや生き残り、発展につなげます。その大変重要な2022年～2023年であり、2024年は挽回に向けてアクセルを踏む時ですので、皆さんと一緒に「大変革」を達成いたしましょう。

### イナテックの強み

この大変革とは、まず、既存のビジネス(パワートレイン事業)で高利益を出し続けることです。ガソリンエンジンがなくなると言っても40%は残るのです。その売り先は、インフラの整っていないアフリカ、南米、中近東、南アジア、シベリア(中央アジア)等々ガ

ソリン車を必要としている数多くの国々です。イナテックには、これまでのパワートレイン事業の拡大で積み重ねてきた実力と実績があります。残されたガソリン車による既存のビジネスで確実に利益を稼げる、強い体質の会社に変わらなければなりません。

### 他社にないイナテックの強み

もう一つの強みは、鑄造と加工の一貫生産技術を持っているということです。先日2021年12月に鑄造工場を和泉工場から米津工場へ移転して、新たな船出をしました。

この新工場は、「世界トップレベルのキャスティングファクトリー」がコンセプトです。木型製作から鑄造加工まで完成品まで、内製で対応出来る企業は多くありません。キケン・キタナイ・キツイ(悪3K)と呼ばれる中小鑄造メーカーは、ほとんど廃業されており、イナテックはあえてそのニッチな所で「No.1」を目指している強みです。

その強みを活かして、洋上風力発電パーツを得意としてみえる三菱電機様や、今後人間と一緒に仕事をやる協働ロボットを開発してみえるフアナック様との取引が始まっており、

これらのお客様は、EV化には無関係なお客様なのです。また世の中の軽量化のニーズに合わせて、マグネシウム(アルミの2/3の重量)の鑄造にも特化しようと考えております。マグネシウムの鑄造が高品質でできる会社は、日本では数社しかないと言われております。

このように他社ではできない技術を持っているイナテックです。第4次産業革命で予測される約60%減の売上を挽回するのは、非常にワクワク感のあるものです。これからも皆さんと一緒に力を合わせ、生き残り"を"かけましょう。

「ワクワク3K(かっこいい・感動する・稼げる)イナテックへ」

### 菜根譚後集

七二

纒就筏、便思舍筏、方是无事道人。若騎驢、又復覓驢、終爲不了禪師。

やっと筏いかだに乗ったと思うと、もう筏を降りる算段をする人であってこそ、十分に悟りました人である。(筏は彼岸に達するための乗物で手段に過ぎないから。これと反対に)、ろばに乗っているながら、そのろばを捜し求めるようでは、結局、悟れぬ禪僧である。(己自身に具足する仏性を見ようとせずに他に求めているから)。

